

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院泌尿器科に、尿路結石症で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学泌尿器科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

尿路結石症に対する再発予防効果および高リスク患者予測因子の解明

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学泌尿器科学講座 助教 出口龍良

3. 研究の目的

本邦における尿路結石症の患者さんは、人口の高齢化・食生活の欧米化・診断技術の向上等により、年々増加傾向であります。近年、上部尿路結石症の積極的治療法として、ESWL（体外衝撃波尿路結石破碎術）に加え、TUL（経尿道的尿路結石破碎術）といった内視鏡手術が革新的に進歩しておりますが、再発率は5年で40-50%と極めて高く、長期的なフォローや複数回の治療を要することもしばしば見受けられます。このような背景から、尿路結石再発の危険性が高い患者さんをあらかじめ予測し、適切な再発予防治療を行うことは、繰り返す尿路結石を未然に防ぎ、また侵襲のある治療介入を避けることができるという点で、非常に重要であると考えます。

以上より、現在までに尿路結石症に対して、当院で診断・検査・治療を受けられた患者さんの情報から、尿路結石再発の危険性が高い患者さんを予測することを本研究の目的としております。

(1) 対象となる患者さん

2009年1月1日から2024年3月31日までの間に、上部尿路結石の診断を受けた後に、24時間尿化学検査・採血・画像検査等を受けた、あるいは再発予防治療を受けた患者さん。(対象となる患者さんの尿路結石再発などの情報は2027年12月31日までを解析対象として用いさせていただきます)

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、BMI、既往歴、採血尿検査から得られる情報、CT画像検査から得られる情報、再発予防治療の内容、最終的な尿路結石再発の有無です。

(3) 方法

対象となる患者さんの診療記録や検査データを過去にさかのぼって集計し、後に尿路結石の再発があったかどうかを評価します。治療前に得られる情報から、尿路結石再発の有無を予測できるか統計学的な解析を行います。また再発予防治療についても同様に解析を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑

誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学泌尿器科学講座 担当医師 出口龍良

TEL : 073-441-0637 FAX : 073-444-8085

E-mail : ryusuke608@wakayama-med. ac. jp